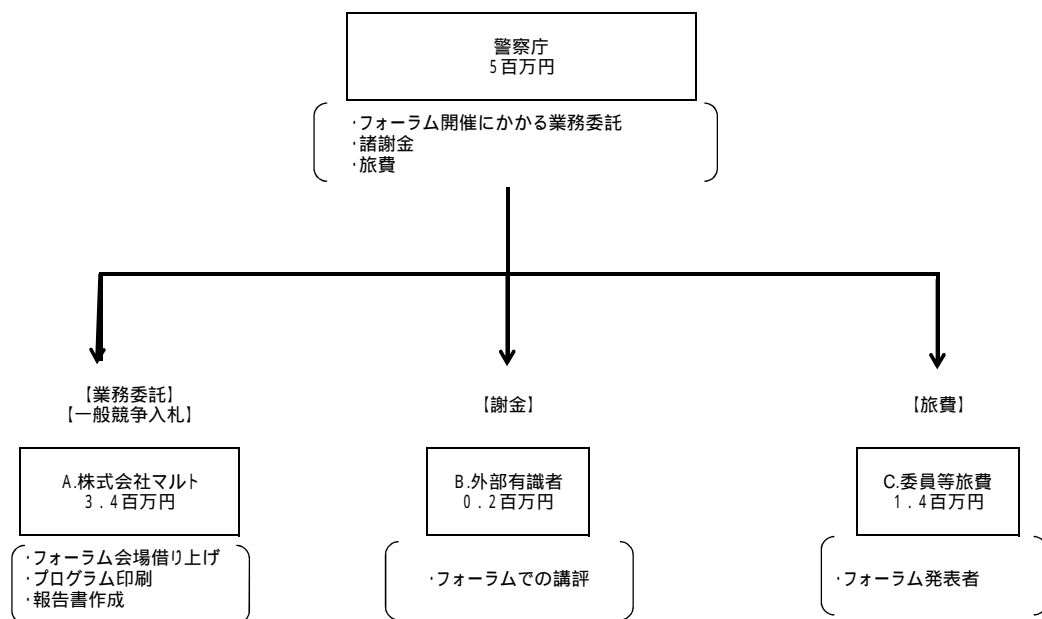


平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	防犯ボランティア支援事業の推進		担当部局庁	生活安全局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～		担当課室	生活安全企画課		生活安全企画課長 鈴木 三男			
会計区分	一般会計		政策・施策名	市民生活の安全と平穏の確保 1 総合的な犯罪抑止対策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	安全・安心なまちづくり全国展開プラン 犯罪に強い社会実現のための行動計画2008					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	『犯罪の起きにくい社会』を実現するために、防犯ボランティア活動を幅広い世代の参加を得たものへと発展させ、地域のシステムとして定着化を図り、活動の更なる活性化を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自主防犯活動の一層の活性化と定着化を促進するため、活動拠点を設置して行われる自主防犯活動に対し、防犯パトロール用品の無償貸付や地域安全情報の提供などの各種支援を行い、また、大学生、短期大学生等の若い世代や会社員、公務員、自営業者等の現役世代による自主防犯活動への参加促進を図るため、自主防犯活動に関心のある者の募集、防犯ボランティア団体の結成方法や活動内容等のノウハウに関する説明会の開催、防犯パトロール用品の無償貸付等の支援を行う。さらに、防犯ボランティア活動の裾野を広げ、質の向上を図るためにフォーラムを開催し、先進的な活動を行う団体の活動内容を全国に発信する。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	10	7	7	6			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	10	7	7	6			
	執行額	9	5	5					
	執行率(%)	90%	71%	71%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 防犯ボランティア活動の活性化・定着化 (参考指標) 支援の対象となる防犯ボランティア団体数			成果実績	団体	47	47	-	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	支援の対象となる防犯ボランティア団体の所在する都道府県			活動実績 (当初見込み)	都道府県	47 (47)	47 (47)	47 (47)	(47)
単位当たりコスト	4,990千円/年			算出根拠	年間執行額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	外部委託	3.4							
	諸謝金	0.2							
	旅費	2							
	計	5.6							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			全国の防犯ボランティアは、団体数、構成員数ともに増加しているが、質が高く、継続的な活動を維持していくためには、現役世代等の幅広い世代の参加を得たものに発展させる必要がある。モデル事業として実施したことで、幅広い世代の参加への呼び水効果が十分に期待できる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			フォーラム開催に伴う契約については、一般競争入札により決定しており、競争性を確保している。また、入札の結果により不用額が発生したものの。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			支援した団体については、各都道府県において、現役世代を中心に活発な活動を行い、成果目標を達成するとともに、活動実績も見込みと見合ったものとなった。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途等の把握水準・状況 契約書及び納品書等の確認する等して支出先・使途を的確に把握している。					
	2 見直しの余地 フォーラム開催に伴う契約について、一般競争入札をしており、競争性は確保されている。 これまでの事業により、全国の防犯ボランティアは団体数、構成員数ともに増加したが、防犯ボランティア活動を多世代の参加を得たものへと発展させ、活動の質を向上させる必要があることから、平成25年度についても防犯ボランティア活動の裾野を広げ、更なる拡大を図るための事業を実施する。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初2-2	平成23年	10	平成24年	6

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)マルト			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	ブロック別防犯ボランティアフォーラム業務委託	3.4			
計		3.4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.委員等			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	フォーラム関係者(延べ103人)	1.4			
計		1.4	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)マルト	ブロック別防犯ボランティアフォーラム業務委託	3.4	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外部有識者	謝金	0.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員等	旅費(延べ103人)	1.4		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

ブロック別防犯ボランティアフォーラムの開催

防犯ボランティア団体 { 全国(平成22年末現在) 4万4,500団体 270万人 } ← 平成15年末の 約15倍

各都道府県1団体選出(47団体)

ブロック別防犯ボランティアフォーラム ～ 先進的な活動内容の発表と他団体との意見交換～

開催目的 防犯ボランティア活動の質の向上と継続性の確保
開催時期 5月～7月頃 開催場所 下記6ブロック

北海道・東北ブロック

近畿ブロック

関東ブロック

中国・四国ブロック

中部ブロック

九州ブロック

成果を
フィードバック

活動の
更なる
活性化

各ブロックごと1団体選出(6団体選出)

防犯ボランティアフォーラム2012

開催日 10月20日 開催場所 東京都内

安全・安心なまちづくりの日
(10月11日)関連行事

